

事務事業名		給与支払報告書等の集計及び発送事務				担当	会計管理者 会計課 出納係		
政策名		G		効率的で市民にわかりやすいまちづくり		増補版施策名			
施策名		1		市民本位の窓口サービスの向上		☐ 実施計画上の主要事業			
関連個別計画						事業期間	☐ 単年度のみ		
法令根拠							☒ 単年度繰返（開始年度 S29 年度～）		
予算科目		1. 一般会計		2. 総務費			1. 総務管理費		4. 会計管理費
事業概要		各課においてその年に支払った個人ごとの報酬等の支払額と源泉徴収税額、土地の賃借料等の支払データと提出された給与支払報告書を同一人物ごとに会計課でとりまとめて発送することにより事務の効率化を図る。							

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動） 29年度実績 ・各課で作成した給与支払報告書等及びデータを受理。 ・受理したデータにより情報システム課で給与支払報告書等を作成。 ・給与支払報告書を同一人物ごとにまとめて発送。 30年度計画 29年度と同様		⑤ 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移						
		名称	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)
		ア 各課のデータ件数（会計課分）	件	0	0	0	0	0
		イ 各課のデータ件数（情報システム打出し分）	件	2,952	3,093	3,220	2,921	3,000
		ウ 給与支払い報告書等の郵送件数	件	2,325	2,378	2,478	2,304	2,300
		エ						
		オ						
② 対象（誰、何を対象にしているのか）＊人や自然資源等 個人ごとに支払われた ・給与支払報告書等 ・報酬及び報償金の支払調書 ・不動産の使用料等の支払調書		⑥ 対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移						
		名称	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)
		ア 給与支払報告書のデータ件数	件	2,574	2,849	2,890	2,334	2,340
		イ 報酬及び報償金の支払調書のデータ件数	件	2	3	96	258	260
		ウ 不動産の使用料等の支払調書のデータ件数	件	231	241	234	329	330
		エ						
		オ						
③ 意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 各課の給与支払報告書を同一人物ごとにまとめて発送し、郵便料の削減を図る。		⑦ 成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移						
		名称	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)
		ア 節減された郵送件数	件	627	715	742	617	650
		イ						
		ウ						
		エ						
		オ						
④ 結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 効率的な給与支払報告書等の発送と経費の削減		⑧ 上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移						
		名称	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)
		ア 効率化された事務の割合	%	100	100	100	100	100
		イ						
		ウ						
		エ						
		オ						

(2) 総事業費の推移			単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0
			県支出金	千円	0	0	0	0
			地方債	千円	0	0	0	0
			その他	千円	0	0	0	0
			一般財源	千円	120	165	193	200
			事業費計（A）	千円	120	165	193	200
	人件費		正規職員従事人数	人	1	1	1	1
			延べ業務時間	時間	30	30	40	35
			人件費計（B）	千円	127	126	166	145
			トータルコスト(A)+(B)	千円	247	291	318	345

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等	
①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	各課において発送していた給与支払報告書等を、会計課で集約し発送することにより郵送料の削減と事務の効率化を図る。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	